

教学マネジメント入門



—学修者本位で捉えなおす教育活動—
2022年8月26日12:30-14:30

□ 教学マネジメント入門 午後の目的

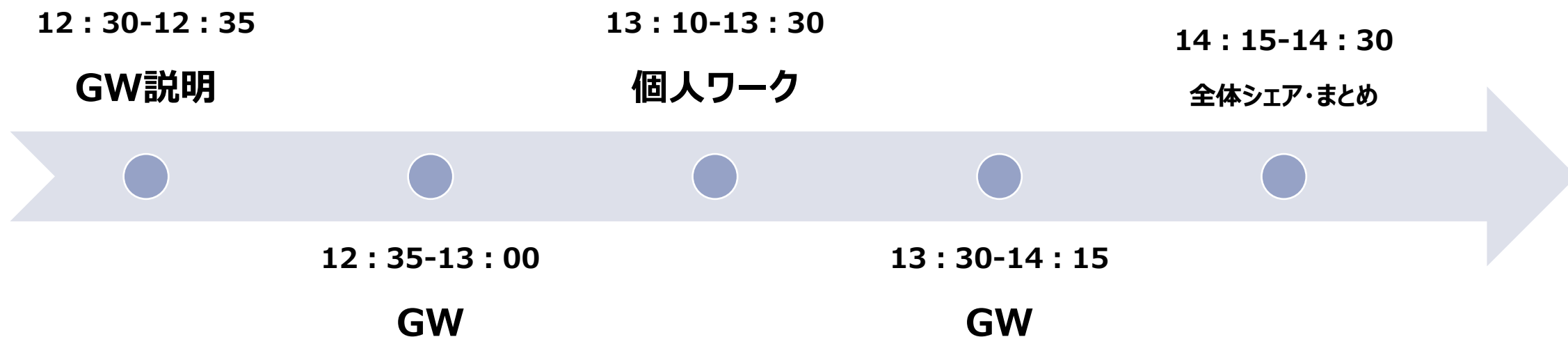
本プログラムの到達目標

1. 教学マネジメントの5つの柱を説明することができる。
2. 学修者本位とは何かを説明することができる。
- 3. 所属組織における教学マネジメントの課題を抽出することができる。**
- 4. 教学マネジメント上の課題の解決案を提案することができる。**

注意事項

午後のグループワークのグループメンバーは午前と異なることがあります。

□ 教学マネジメント入門 午後の流れ



午後に使う物

- ・教学マネジメントチェックシート
- ・グループワーク用ワークシート※当日、URLを配信致します。

1. グループワーク（25分）

目的

現状から、特に解決すべき、また職員が現実的に解決できる課題は何か？を考えよう

グループワーク①（3～4人程度）

- 1) 自己紹介（所属や部署・名前・担当している仕事など）
- 2) 教学マネジメントシートの結果の紹介

チェックシートから、教学マネジメントのどこが出来ていないか（課題）をシェア

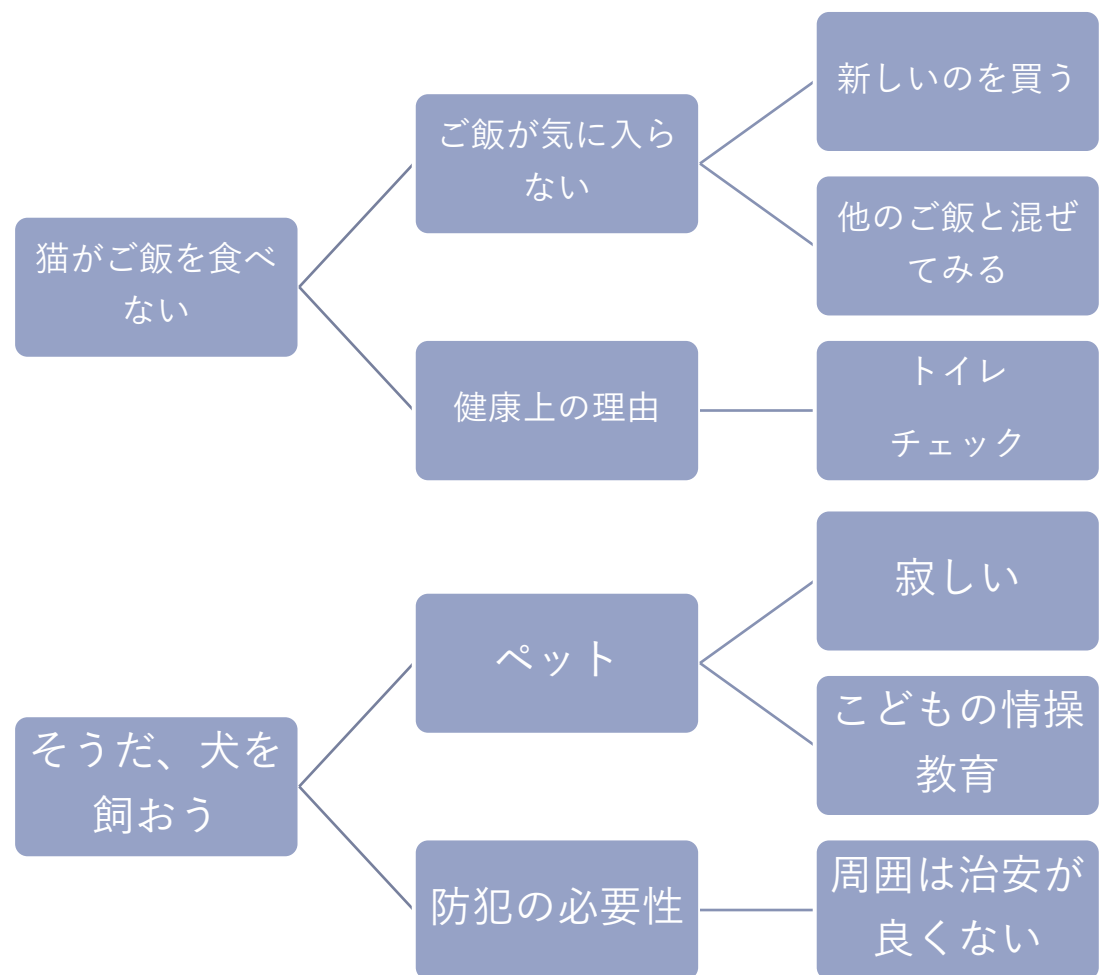
- 3) 2) をふまえて、**グループで検討する教学マネジメントの課題を一つ決める。**
- 4) **その課題に対して、どのような立場（学生、教員、職員、組織など）が関わっているか、3～7ぐらいを出してみる。**

□ 課題解決を考える際の方法例①

① 帰納法と演繹法

- ・ 幹から枝へ考えていく**帰納法**
形態分析や系統図など

- ・ 枝から幹へ考えていく**演繹法**
KJ法、セブンクロス



□ 課題解決を考える際の方法例②

② 問題の原因の構造化

- ・問題の要因や要因同士の関係性、問題が生まれる 土壌を把握・理解する。

ソフトシステムズ方法論、リッチピクチャー

例 SDで職員の場合

理事長の自慢話聞いても
しょうがない

SDなんて受ける・参加す
るの面倒くさい

職員はミスなく仕事やれ
ばいいから知識いる？

分からないことあるけど、
このままでいいや



2. 個人ワーク（20分）

目的：グループで決めた課題について、課題の要因や解決を考えてみる。

①その課題が起こる要因は何か？

→グループで出した様々な立場（学生、教員、職員、組織、制度など）の人はどういう要因で課題となるのか。

②①をふまえて、どのような課題解決（アプローチ）があるか考えてみよう。

→ 3 ～ 7 個は出してみる。別途ワークシートに記載

□ グループワーク（45分）

目的：各自で考えた課題解決の案をグループで統合し、整理と評価をしよう

● 個人ワークで考えたものを出し合って、7×7（セブंकロス）をつくってみる。

セブंकロスのやりかた（縦軸 課題の優先順位・横軸（対象者））

- ・個人ワークで考えた課題解決案をみんなで出し合おう
- ・セブंकロス表に記入しながら、課題解決のための優先順位を相談してみよう

その際は、何からやればいいのか（効果的なのか）を踏まえて、課題解決方法の整理と評価をしてみよう。

□ グループワーク（45分）

方策	要因① 古参教務 職員	要因② 教授会	要因③ 働かない 上司	要因④	要因⑤	要因⑥	要因⑦
1							
2							
3							
4							
5							

□ 全体シェア（15分）

① グループ検討結果シェア

どのような課題について検討して、どのような解決策があったのか（数グループ程度）から発表していただきます。

発表がない班は、どのような課題解決案があったのか、自学に適用できるか、できるならどうすればいいかも考えてみましょう。

② 全体総括とまとめ

最後は講師陣よりまとめで教学マネジメント入門 2 コマは終了です。

□ 全体総括とまとめ

本プログラムの到達目標

1. 教学マネジメントの5つの柱を説明することができる。
2. 学修者本位とは何かを説明することができる。
3. 所属組織における教学マネジメントの課題を抽出することができる。
4. 教学マネジメント上の課題の解決案を提案することができる。

□ 全体総括とまとめ

広島市立大学

山咲 博昭

h-yamasaki@hiroshima-cu.ac.jp

淑徳大学

荒木 俊博

araki-t@daijo.shukutoku.ac.jp

山口大学

岩野 摩耶

maya.iwano@yamaguchi-u.ac.jp

京都産業大学

白藤 康成

shirafuji.yasunari@star.kyoto-su.ac.jp

獨協大学

堀 佑二

hori_yuji@stf.dokkyo.ac.jp